

皆さんが出したごみは、何処に行くのでしょうか？今回は、資源化施設の概要と資源ごみを出す際の注意点について紹介します。

●ごみの行き先(資源ごみ)

「資源化施設(旧美サイクル館)」の概要

所在地：留萌市大字留萌村字藤山 1714 番 1

供用開始：平成 25 年 4 月

直接搬入する場合：月～金曜日(祝祭日を含む)

9：00～17：00

※ごみを計量するため、午後 4 時半までに搬入してください。

※年末年始(12月31日～1月3日)は休み

●受け入れできるごみの種類

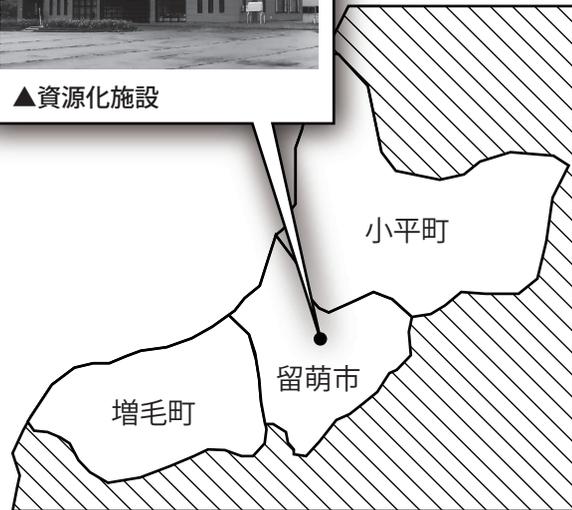
・粗大ごみ(直接搬入する場合の手数料
220 円/10kg)

・資源ごみ(無料)

(缶、瓶、ペットボトル、新聞、雑誌、ダンボール、紙パック、雑がみ、紙製容器、金属類、白色トレイ、プラスチック製容器、発泡スチロール、危険ごみ、小型家電)



▲資源化施設



留萌市にある「資源化施設」に運ばれた粗大ごみは、金属などを取り除いた後、機械によって破碎されます。資源ごみは、作業員が手選別した後、資源としてリサイクルされます。

ごみを出す際のポイント

【粗大ごみ】

粗大ごみは、最大の辺または径が 30cm 以上 2 m 以内、容積が 2 m³ 以内、重量が 100kg 以内となります。粗大ごみを出す場合は、収集日の 2 日前(閉庁日はその前の平日)の午後 3 時までに留萌南部衛生組合(電話：43-2555 / 43-2588)へお申し込みください。なお、ごみ出しの際は、粗大ごみに「粗大ごみ処理券」を貼り、ステーション横または自宅前へお願いします。※直接搬入する場合は、事前の申し込みおよび「粗大ごみ処理券」が不要となります。

【資源ごみ】

- ◎使用済みのスプレー缶や使用済みのカセットコンロ用ガスボンベは、金属類となります。ごみとして出す際は、中のものを使い切った後、火の気のない場所で缶に穴を開けてください。(ガスが残っていると、火災の原因となるおそれがあります)
- ◎テフロン加工されたフライパンやホーロー鍋は、金属類です(50cm以内のもの)。また、50cmを超えるものは粗大ごみとなります。
- ◎プラ製容器などは、汚れがあると資源として利用することができません。汚れているものは、汚れを落としてから出しましょう。

問 市・環境保全課

☎ 42-1806

問 留萌南部衛生組合

☎ 43-2555 / 43-2588